

恵庭市男女共同参画審議会会議録（要旨）

1 日 時 平成30年3月6日（火） 10:00～10:30

2 会 場 市庁舎3階301・302会議室

3 出席者

『委員』 坂巻委員、相澤委員、尾形委員、鈴木委員、中島委員、
平井委員、前田委員

『事務局』 中川総務部長、横道総務部次長、内山総務課長、温井総務課主査
浅野総務課主任

『傍聴』 なし

4 内 容

(1) 開会

(2) 副会長挨拶

本年度第1回目の会議となる。事務局から計画に沿った報告がなされるため、みなさんのご協力の下、審議したいと思うのでご協力願いたい。

(3) 総務部長挨拶

本市では平成15年に男女共同参画基本条例が制定され、現在、第2期恵庭市男女共同参画基本計画を推進中である。審議会では計画に基づく市の施策等について報告を行い、進行管理を行っていききたい。

昨年10月、市内の女性団体等に所属する方たちと苫小牧市で開催された「日本女性会議2017とまこまい」に参加し、様々な男女共同参画の取組みについて学んだ。参加した方々には男女共同参画の意識啓発につながる機会となったと考えている。

本市の取組みとしては平成28年度に特定雇用主事業計画を策定し、男性の育児休暇の取得率等について数値目標を立て、策定前に取得者はいなかったが今年度は4人が取得している。

(4) 議事

①市の附属機関における女性登用について

まず始めに、女性登用率の目標について、「恵庭市審議会等委員への女性の登用推進要綱」における女性登用率の目標値40%の目標期間を男女共同参画基本計画の第2次計画の中間見直しとなる平成33年3月31日までと期間を変更した。

今年度調査した平成29年度4月1日現在の女性登用率は26.65%と平成28年度の27.48%より、わずかに減少という結果となった。

総務課では女性登用の推進のため、今年度より委員の改選期を迎える担当課に対し、個別にヒアリングを行い、現状の確認及び団体推薦依頼時に女性委員の推薦依頼を願うなど、依頼をしている。

《C委員》

以前、平成27年度末までに女性登用率40%達成を目標としていたが、今回の延長について今後の見通し及び延長となった原因についてどう考えているか。

《事務局》

はじめに40%という目標値については、北海道が定める女性登用率の目標値に合わせ、設定している。審議会等の附属機関は2年任期としているところも多く、改選期の時期の関係からすぐに上がらない現状がある。また、機関推薦を依頼すると男性が選ばれる場合が多く、市としても女性委員を推薦してもらうよう依頼するなど積極的に推進したいと考えている。

②男女共同参画基本計画に基づく平成28年度実施事業概要書について

○平成28年度より各所管課より事業管理シートを作成いただき、それらを男女共同参画基本計画の体系図に基づき取りまとめた。【資料4、5参照】

○平成29年度の新規事業は、下記のとおりである。平成30年度には、今年度の事業実績及び平成30年度の事業予定について調査を行い、新規事業や従来の事業内容の拡充等を踏まえ、事業実施概要書を更新する予定である。

[子ども未来部子ども家庭課]

子どもの生活・学習支援事業として、さまざまな困難や課題を抱える子どもたちが地域とのつながりを持ち、安心して暮らすことができるよう、基本的な生活習慣の習得や学習支援、食事の提供などを行う地域の居場所づくりを進め、子どもの生活向上を図る事業の実施。

[経済部商工労働課]

ハローワーク千歳が女性の復職を支援するセミナーとして実施していたメイクアップセミナーやビジネスマナーセミナーを今年度から共催で実施。

(5) その他

《事務局》 審議会の任期について

現審議委員の任期は本年4月30日までとなっており、3月下旬から4月上旬に各団体の代表へ、団体からの推薦依頼するためご協力願いたい。また、公募委員についての募集も4月広報紙にて掲載予定である。

《G委員》

市が男女共同参画のため様々な施策を実施していることが分かったが、実際にサービス等を活用している現場にいないため、利用者のニーズ等が把握できず

委員として要望等を出したくとも難しいところがある。市民の声が聞けるような手段を考えていただけるとありがたい。

《事務局》

様々な企業や団体が行っていることを情報発信し、先進事例を伝えることでいい意味で刺激を与えたいと考えている。女性の就労機会も増え、保育所でもパートなどの短期労働でも預かりが可能となってきた。行政だけで男女共同参画を推進することは難しい。今後も企業や市民の方たちの声を聞き、協働して推進していきたいと考えている。

(以上)